

## 第1回Webミーティング(2020.11.16)

### 【プログラム】

14：00-開会挨拶

14：05-講義1「国立がんセンター中央病院の在宅移行の取り組み」

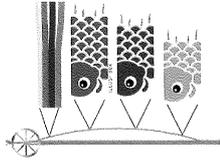
講義2「MCSを用いた地域との連携について（仮）」

14：35-グループワークについての説明

14：40-グループワークと発表

15：40-閉会挨拶

**参加施設：北大・神奈川こども・成育・都立小児  
長野こども・三重大・大阪市立総合医療センター・  
九大・鹿児島大・あおぞら診療所・国立がんセンター**



## 大隅班班会議発表表 ～社会資源共有チーム～

大阪市立総合医療センター

大濱 江美子

成育医療研究センター

鈴木 彩

あおぞら診療所せたがや

池田 有美

国立がん研究センター中央病院

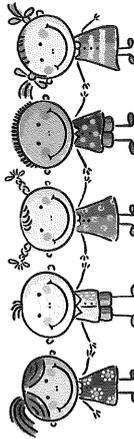
清水 麻理子、加藤 香恵、荒川 歩

## 本日のディスカッション

- がん治療がこれ以上は難しい事を誰がどのように説明していますか？
- 終末期の小児がんの患者さんはどこで（どんなふう）に療養していますか？
- 在宅での療養が難しい場合どうしていますか？
- 終末期の患者さんにそれぞれの職種がどう関わっていますか？
- 子どもには、誰が、どのように説明していますか？

質問の全てを議論する必要はありません。

施設や地域によっていろいろ取り組みがあると思います  
気軽に、ざっくばらんに意見をお聞かせください



dreamstime.com

## 大隅班の中での社会資源共有チームの在り方

大濱 江美子(MSW, 大阪市立総合医療センター)、鈴木 彩 (MSW, 成育医療センター)

池田 有美 (MSW, あおぞら診療所せたがや)

荒井 麻理(MSW)、清水 麻理子(MSW)、加藤 香恵 (こども療養支援士)、荒川 歩 (医師) (国がん中央)

• 大隅班の中で唯一MSWが中心となっているチーム

• 終末期がん患者さんの在宅医療を目指す中で、各病院のどのよう

**社会資源（地域の在宅クリニックとの連携etc.）を利用して**

**共有できないかというチーム**

→ リーフレットetc.を作成しても、地域ごとに利用している情報は異なる

→ 情報をまとめても、更新していかないとあまり意味がない

• コロナであることを逆手にとって**全国の施設をWebでつないで終末期ケア**に関わるNs・MSWの皆様の意見を共有しようという取り組み

## 大隅班班会議発表表 ～社会資源共有チーム～

大阪市立総合医療センター

大濱 江美子

成育医療研究センター

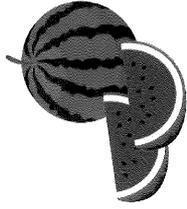
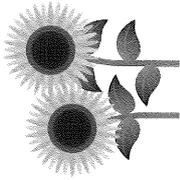
鈴木 彩

あおぞら診療所せたがや

池田 有美

国立がん研究センター中央病院

清水 麻理子、加藤 香恵、荒川 歩



## 今後のスケジュール

- 6月中：日程とだいたいの内容の決定
- 7月中：各施設に案内の送付
- 8-10月中：内容の議論
- 11月（日程未確定）：ワークショップ実施

## 大隅班の中での社会資源共有チームの在り方

大濱 江美子(MSW, 大阪市立総合医療センター)、鈴木 彩 (MSW, 成育医療センター)

池田 有美 (MSW, あおぞら診療所せたがや)

清水 麻理子(MSW)、加藤 香恵 (こども療養支援士)、荒川 歩 (医師) (国がん中央)

- ・大隅班の中で唯一MSWが中心となっているチーム
- ・終末期がん患者さんの在宅医療を目指す中で、各病院のどのような社会資源（地域の在宅クリニックとの連携etc.）を利用しているかを共有できないかというチーム

- コロナであることを逆手にとって全国の施設をWebでつないで終末期ケアに関わるNs・MSWの皆様の意見を共有しようという取り組み
- 前回班会議で、成果物として施設で在宅診療について説明する際の補助的なツールとなるような、パンフレットを作製した方が良い

## 今後の方針

- ・ 今秋に在宅診療・終末期医療に関わる全国のMSW・コメディカルの方々を対象としたワークショップを行うことを検討
- ・ この班会議を受けてMSWさんを中心としたミーティングを来週に実施
- ・ このグループとして、メンバーの追加を検討中
- ・ 内容についてもご意見頂けますと幸いです

## 今後の方針

- ▶3-4ヶ月程度でパンフレットのたたき台を作成
- ▶今年度中に、大隅班の参加施設のMSW・看護師さんのご意見を収集
- ▶来年度前半にパンフレットの内容をFix→作成
- ▶来年度後半に、Webinar実施を計画

## 前回大隅班会議を受けての議論

- ▶前回ミーティングから、計3回のミーティングを実施（内1回はMSWのみ）
- ▶在宅移行を検討している患者さん・家族に相談員（MSW・Ns）が説明をする際の、補助的なツールとなるようなパンフレットを作成
- ▶客観的な療養の選択肢や、在宅でできることが可視化できるようなパンフレットを作成（主観的な情報は入れない）
- ▶説明をする相談員さんが使いやすいかどうかのポイント
- ▶全国の施設で使用する場合は、地域や病院に関わらず、使いやすいかが重要

2021年9月17日 大隅班 班会議

## 大隅班班会議発表 ～社会資源共有チーム～

大阪市立総合医療センター  
大濱 江美子  
成育医療研究センター  
鈴木 彩  
あおぞら診療所せたがや  
池田 有美  
国立がん研究センター中央病院  
清水 麻理子、加藤 香恵、荒川 歩



## 前回大隅班会議を受けての議論

- ▶パンフレットのたたき台を作成したら、大隅班の参加施設のMSW・退院支援Nsにレビューして頂いて、内容の妥当性を評価する。
- ▶Webinarは、パンフレット作成後にパンフレットの内容やその実践方法を紹介・議論するような内容にする。
- ▶実際のイメージは大濱さんに提示頂く
- ▶余谷先生、ご助言有り難うございます！！

じからのぺこり

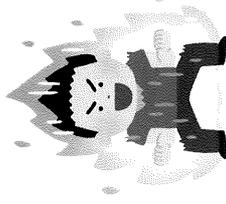


## 前回大隅班会議を受けての議論

▶パンフレットのたたき台を作成したら、大隅班の参加施設のMSW・退院支援Nsにレビューして頂いて、内容の妥当性を評価する。

▶Webinarは、パンフレット作成後にパンフレットの内容やその実践方法を紹介・議論するような内容にする。

▶現在、パンフレットの内容を鋭意作成中



大隅班の中での社会資源共有チームの在り方

大濱 江美子(MSW, 大阪市立総合医療センター)、鈴木 彩 (MSW, 成育医療センター)  
池田 有美 (MSW, あおぞら診療所せたがや)

清水 麻理子(MSW)、加藤 香恵 (こども療養支援士)、荒川 歩 (医師) (国がん中央)

・終末期がん患者さんの在宅医療を目指す中で、各病院のどのような社会資源 (地域の在宅クリニックとの連携etc.) を利用しているかを共有できないかというチーム

▶コロナであることを逆手にとって全国の施設をWebでつないで終末期ケアに関わるNs・MSWの皆様の意見を共有しようという取り組み

▶前回班会議で、成果物として施設で在宅診療について説明する際の補助的なツールとなるような、パンフレットを作製する事について提案

## パンフレットの内容

① 在宅医療とは？

② 在宅医療でできること (写真やイラストを入れて具体的に)  
・医師の診察、点滴が出来ます、痛み止めが使えます etc.

③ 地域連携マッピング

★小学生に説明できるようなパンフレットの作成を検討 (加藤)

★A4の三つ折りのサイズ感

## 前回大隅班会議を受けての議論

▶在宅移行を検討している患者さん・家族に相談員 (MSW・Ns)が説明をする際の、補助的なツールとなるようなパンフレットを作成中

▶客観的な療養の選択肢や、在宅でできることが可視化できるようなパンフレットを作成 (主観的な情報は入れない)

▶説明をする相談員さんが使用しやすいかどうかのポイント

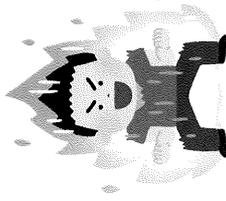
▶全国の施設で使用する場合は、地域や病院に関わら使いやすいかが重要



## 前回大隅班会議を受けての議論

- ▶パンフレットのたたき台を作成したら、大隅班の参加施設のMSW・退院支援Nsにレビューして頂いて、内容の妥当性を評価する。
- ▶Webinarは、パンフレット作成後にパンフレットの内容やその実践方法を紹介・議論するような内容にする。

▶現在、パンフレットの内容を鋭意作成中



大隅班の中での社会資源共有チームの在り方

大隅 江美子(MSW, 大阪市立総合医療センター)、鈴木 彩 (MSW, 成育医療センター)  
池田 有美 (MSW, あおぞら診療所せたがや)  
清水 麻理子(MSW)、加藤 香恵 (こども療養支援士)、荒川 歩 (医師) (国がん中央)

- ・終末期がん患者さんの在宅医療を目指す中で、各病院のどのような社会資源 (地域の在宅クリニックとの連携etc.) を利用しているかを共有できないかというチーム

- ▶コロナであることを逆手にとって全国の施設をWebでつないで終末期ケアに関わるNs・MSWの皆様の意見を共有しようという取り組み
- ▶前回班会議で、成果物として施設で在宅診療について説明する際の補助的なツールとなるような、パンフレットを作製する事について提案

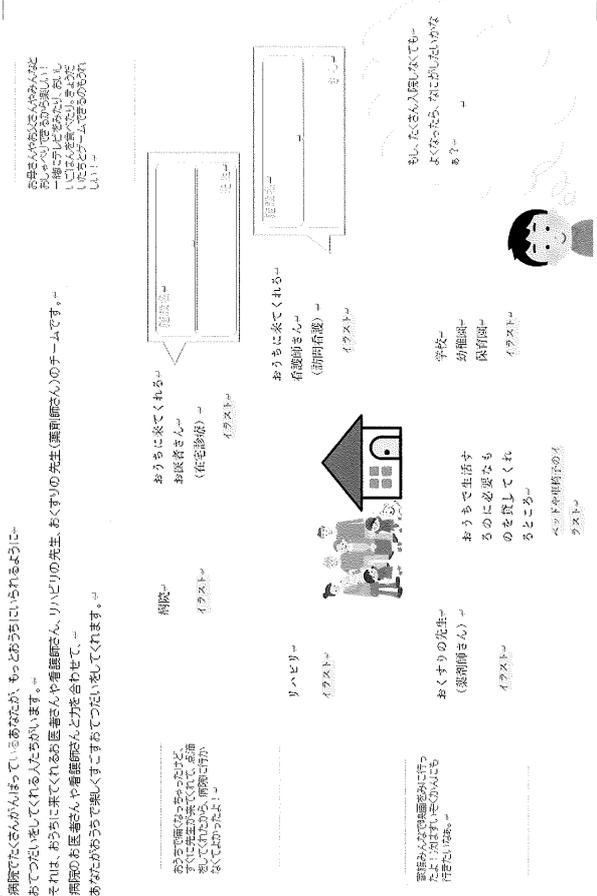
## パンフレットの内容

- ① 在宅医療とは？
  - ② 在宅医療でできること (写真やイラストを入れて具体的に)
    - ・医師の診察、点滴が出来ます、痛み止めが使えます etc.
  - ③ 地域連携マッピング
- ★小学生に説明できるようなパンフレットの作成を検討 (加藤)  
★A4の二つ折りのサイズ感

## 進行中の議論

- ▶在宅移行を検討している患者さん・家族に相談員 (MSW・Ns)が説明をする際の、補助的なツールとなるようなパンフレットを作成中
- ▶客観的な療養の選択肢や、在宅でできることが可視化できるようなパンフレットを作成 (主観的な情報は入れない)
- ▶説明をする相談員さんが使用しやすいかどうかのポイント
- ▶全国の施設で使用する場合は、地域や病院に関わら使いやすいかが重要





## タイムライン

- 2021年12月：パンフレットの内容(案)を確定
- 2022年1-2月：分担の施設のNs、MSWさんにレビュー頂く
- 2021年3月：パンフレットのパイロット版を作成
- 2021年4-9月：パンフレットを数施設で試用
- 来年度後半に、ワークショップを企画予定

在宅診療中の写真

医療機器や  
福祉用具が写っている写真は  
裏などあれば

みんな、あなたのことを  
ちゃんと見てくれるから  
安心してね。

みんな、あなたが好きなことや楽しいことを  
たくさんで書いたらいいと思います。

心算なことや困ったことがあったら  
いつでも、なんでも、相談してね。

「ざいたくくりより」  
在宅医療  
って、なに？

イラスト

おうちにいるあなたのもとへ  
お医者さんや看護師さんが来てくれる、  
ということですよ。

だから、  
おうちで家族みんなといっしょにいられる時間が  
多くなります。

おうちでできる病気の治療をするときや、  
痛みなどで寝がたいときにも、  
おうちにお医者さんたちが来て、助けてくれます。

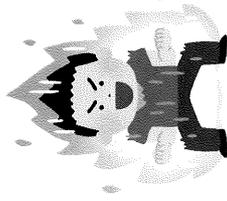
# 現在パンフレットを作成中

➤現在、成育医療研究センター白井夕映様にご尽力頂いてパンフレットを作成中。

➤MSWさんが説明しやすいような内容、文字は少なめ

➤在宅診療のイメージがわかりやすいような内容

➤こどもに説明するパンフレットも合わせて準備中



## 大隅班班会議発表表 ～社会資源共有チーム～

大阪市立総合医療センター

大濱 江美子

成育医療研究センター

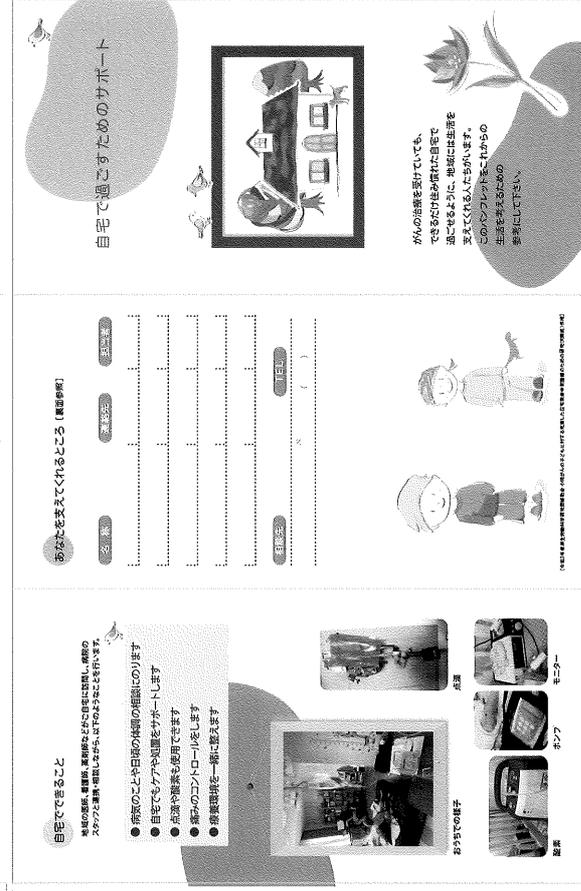
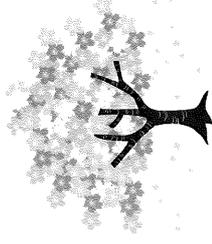
鈴木 彩

あおぞら診療所せたがや

池田 有美

国立がん研究センター中央病院

清水 麻理子、加藤 香恵、荒川 歩



## 大隅班の中での社会資源共有チームの在り方

大濱 江美子 (MSW, 大阪市立総合医療センター)、鈴木 彩 (MSW, 成育医療センター)

池田 有美 (MSW, あおぞら診療所せたがや)

清水 麻理子 (MSW)、加藤 香恵 (こども療養支援士)、荒川 歩 (医師) (国がん中央)

- ・終末期がん患者さんの在宅医療を目指す中で、各病院のどのような社会資源 (地域の在宅クリニックとの連携etc.) を利用しているかを共有できないかというチーム

- ➔ コロナであることを逆手にとって全国の施設をWebでつないで終末期ケアに関わるNs・MSWの皆様の意見を共有しようという取り組み
- ➔ 成果物として施設で在宅診療について説明する際の補助的なツールとなるような、パンフレットを作製する事について提案

